建設経済研究所

16年度建設投資見通し

民間非住宅建設 4年ぶりに増加へ

建設経済研究所が16日に発表した15年度、16年度の建設投資見通しによると、15年度の建設投資額（名目）は、対前年度比4・1％減の54兆2100億円、16年度は3・1％減の52兆5400億円となる。このうち16年度については、政府建設投資が7・8％減とマイナスが続くものの、民間非住宅建設は、企業の新規設備投資意欲の増加から1・8％増と4年ぶりに増加に転じる。民間住宅は0・7％減の予測。

政府建設投資の15年度見込みは、対前年度比で名目8・8％減となり、5年連続の減少。16年度も、7・8％減で、ピーク時の7年度と比べ6割程度の水準まで落ち込む。

民間住宅投資は、住宅ローン減税の駆け込み需要もあり、15年度が0・2％増と小幅ながら4年ぶりに増加。ただし16年度については、景気が回復基調にあるとはいえ、住宅取得者層を取り巻く環境が大きく変わる要因は少なく、0・7％減と再びマイナスに転じると予測している。

民間非住宅建設投資については、企業収益が回復基調にあり着工床面積が増加するが、投資額に反映されるまでには時間を要することから、15年度は1・1％減の見込み。ただし16年度には、設備投資意欲が維持され、建設投資額も1・8％増と4年ぶりの増加に転じる。

民間非住宅の着工床面積を見ると、事務所が15年度に6・5％増、16年度が15％増。店舗は15年度7・8％増、16年度12・8％増。工場は15年度4・5％増、16年度10・4％増を予測している。

建設投資の推移（年度）

年度	2年度	7年度	11年度	12年度	13年度（実績見込み）	14年度（見込み）	15年度（見通し）	16年度（見通し）
名目建設投資	814,395	790,169	685,039	661,420	608,300	565,200	542,100	525,400
（対前年度伸び率）	11.4%	0.3%	▲4.1%	▲3.4%	▲8.0%	▲7.1%	▲4.1%	▲3.1%
名目政府建設投資	257,480	351,986	319,379	299,632	277,900	249,500	227,600	209,800
（対前年度伸び率）	6.0%	5.8%	▲6.0%	▲6.2%	▲7.3%	▲10.2%	▲8.8%	▲7.8%
名目民間住宅投資	257,217	243,129	207,238	202,756	185,800	179,300	179,600	178,300
（対前年度伸び率）	9.3%	▲5.2%	4.9%	▲2.2%	▲8.4%	▲3.5%	0.2%	▲0.7%
名目民間非住宅建設投資	299,698	195,053	158,422	159,032	144,700	136,400	134,900	137,300
（対前年度伸び率）	18.4%	▲1.8%	▲10.4%	0.4%	▲9.0%	▲5.7%	▲1.1%	1.8%
実質建設投資	854,423	790,169	698,743	673,143	625,400	585,000	564,000	550,100
（対前年度伸び率）	7.7%	0.2%	▲3.1%	▲3.7%	▲7.1%	▲6.5%	▲3.6%	▲2.5%

※民間非住宅建設投資＝民間非住宅建築投資＋民間土木投資　（単位：億円、実質値は7年度価格）

国交省

GIS利用定着化事業

来月14日まで企画募集

国土交通省は、地理情報システム（GIS）のより一層の普及・定着に向け、GIS利用定着化事業をスタートする。国民生活に直接的にかかわる場面でのGISの活用を想定し、企業や地方公共団体などから企画提案を11月14日まで公募。優秀な提案を行った団体に、実証調査（15～16年度）と、定着化に向けた取り組み（17年度）を進めてもらう。12月上旬までに、優秀提案として5件程度を選び、1件当たり2500万円（15年度分）を上限に業務委託する。

現状ではGISの利用が限られた専門分野にとどまっているため、利用定着化事業を通じ、国民生活に密着した分野への利用範囲拡大を促していく。

15～16年度の2カ年で、企画提案に基づく実証調査を行い、利便性や国民生活の質の向上に役立つことを検証。その上で成果を、17年度に全国へ普及拡大させていく方針だ。

国交省では、提案募集の対象となる分野・テーマとして、例えば、GISを活用した医療・福祉施設の情報提供システムをはじめ、▽一般家庭（不動産）▽教育（社会科、環境学習）▽個人事業主（マーケティング、顧客サービス）、NPO（環境、まちづくり）、自治体（対住民サービス）などと想定。ただし、これらの分野・テーマに限定せず、創意による自由な設定が可能としている。

今後11月14日まで企画提案を公募。学識経験者で構成する審査委員会が書類選考し、12月上旬に結果を発表する。

優秀提案に対しては、日本総合研究所を通じて調査を委託する。委託費は15年度分が上限2500万円。16年度、17年度も同額程度を限度とする予定（事情によっては減額・中止の場合もある）。

また優秀提案の選定後に、事業全体の進ちょくを管理する委員会を設置。同委員会の下に、各提案者を加えたワーキンググループも設ける。

問い合わせ・企画書提出は、GIS利用定着化事業事務局（東京・千代田区、日本総合研究所研究事業本部内）まで。問い合わせは、FAX03・3288・5540か、Eメールgis-kouho@sci.jri.co.jpのみ。

住宅金融普及協会が発行

住宅ローンの証券化

(財)住宅金融普及協会は、住宅金融公庫の証券化支援事業を解説する「住宅ローンの証券化」を発行、分かりやすい証券化のノウハウをしている。

公庫では、この10月から証券化支援事業（買取型）を開始。同事業は、長期・固定金利の住宅ローンが民間金融機関から提供されることを目的にしており、同事業に参加する民間金融機関から長期・固定金利の公庫買取型新住宅ローンが提供される。

同書は、事業の背景から関係法令の内容まで詳細に解説。B4判142ページで、価格は2100円（消費税込み）。

同協会のホームページ「住まいのポータルサイト」（http://www.sumai-info.com/）を利用すれば定価の5％引きとなる。問い合わせ先は、同協会南九州連絡事務所（☎096・387・2210）。

濵園茂木氏が死去

本県塗装業界をリード

日本塗装工業会本部理事・九州支部連合会長の濵園茂木氏（㈱木場塗装代表取締役会長）は、病気療養中のところ、16日午前、死去した。70歳。通夜は17日午後6時から、告別式は18日午前11時から、いずれも鹿児島市甲突町の平安祭典・鹿児島会館で執り行われる。喪主は夫人の美智子（みちこ）さん。自宅は、鹿児島市明和1丁目3－11。

濵園氏は、揖宿郡喜入町出身。昭和34年、鹿児島商科短大を卒業。38年、義父の営む塗装店に弟子入り。46年、社長に就任。修業で培った技術と持ち前の営業力で官公庁から民間まで幅広く工事を受注、本県を代表する塗装工事会社に成長させた。

団体関係にあっては、昭和59年から平成3年まで県板金塗装工業協同組合理事長、昭和62年から平成5年まで日塗装県支部長、6年から本部理事、15年に九州支部連合会長に就任。また、県鋼橋塗装協同組合理事長を発足当初から今年まで務めるなど本県塗装業界のリーダー的役割を果たしてきた。平成10年、第50回国土建設週間建設大臣表彰を受賞している。

生産物賠償責任保険制度

来月から運用開始

地盤環境技術研究センター

協同組合地盤環境技術研究センター（一川宏也理事長）は、組合員向けに「生産物賠償責任保険制度」を創設、11月から運用を開始する。

組合は、新たな市場である「土壌・地下水汚染状況の調査・分析」「汚染地盤を修復する地盤環境改善事業」の開拓に取り組む地質調査会社で構成。今回の保険制度創設によって組合員の営業を支援する。

保険は、組合員が実施した汚染地盤修復工事の完了引き渡し後、当該工事によって生じた事故に伴い、組合員が第三者に対して被る法律上の賠償責任を補償。再工事が必要になった際の土地の工作物の取り壊し、再構築費用、使用不能損害を補償する特約も用意した。

工事自体のやり直しに要する費用は、補償の対象外。

保険料は、直近の年間工事売上高に基づいて算出。新規参入で売上実績がない場合は、今後1年間の見込み売上高を申告する。

問い合わせ先は、ジオ・ビジネスサービス（☎03・5805・7211）。

きょうから3日間、かごしま住まいと建築展

県は10月の住宅月間のイベントとして17日から19日の3日間、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「03かごしま住まいと建築展」を開く。また18日午前10時から住まいと建築なんでも相談等を実施、19日は県民ホールで天然素材でつくる健康住宅と題した講演会も開催する。

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴	北のち北東	0％ 0％
大隅	晴	北のち北東	0％ 0％
種子屋久	晴朝の内から夕方所一時雨	北のち北東	20％ 20％
奄美	晴所一時雨	北やや強くのち北東	10％ 10％

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
18	土	時々	20%	23° 14°		40%	25° 19°
19	日	時々	20%	24° 14°	時々	20%	25° 20°
20	月	時々	30%	24° 15°	時々	20%	26° 19°
21	火		40%	24° 17°	時々	30%	26° 20°
22	水	時々	30%	23° 15°		40%	26° 20°

《概況》向こう一週間は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れる所が多い。後半は気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多い。

行政動静

10月17日（金）

【県庁】
- 知事……在庁
- 副知事……出張
- 土木部長……午前庁外、午後在庁

【鹿児島市】
- 市長……出張
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……在庁
- 後田副所長……庁外
- 赤星副所長……庁外

【川内川河川事務所】
- 所長……在庁

【大隅河川国道事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

【鹿児島港湾・空港整備事務所】
- 所長……在庁

【志布志港湾事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……午前庁外、午後在庁

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。